

## 第4 現行システムにおける外字運用

### 1 J E Fコード体系

登記情報システムでは、登記データを扱うために日本語処理を行っており、この日本語処理のために、J E F（富士通株が開発した日本語処理のための機能の総称）を使用している。

(1) J E Fで扱う文字には、以下のものがあり、それぞれJ E F（漢字）コードという四桁のコードで管理している。（漢字一文字ごとに、それぞれ16進数のコードが割り振られている。）



図 J E Fで扱う文字

(2) それぞれの文字に割り振られているコードは、以下のとおりである。

拡張非漢字, 拡張漢字領域 ..... 4 1 A 1 ~ 7 F F F  
 利用者定義文字領域 ..... 8 0 A 1 ~ A 0 F E  
 標準漢字, 非漢字領域 ..... A 1 A 2 ~ F E F E  
 ([ '78JIS ] + JIS非漢字)  
 空白 ..... 4 0 4 0

J E Fでは、上記の範囲で文字を管理している。

ただし、利用者定義文字領域内のコード管理は、利用者に任されており、この利用者定義文字領域のことを、外字領域と呼んでいる。

### 2 登記情報システムにおける外字

#### (1) 外字の種類

登記情報システムにおける外字とは、J I S第一水準、J I S第二水準、J I S非漢字、拡張非漢字（グラフ、図形記号等）、拡張漢字以外の文字を指し、機能コード文字及び地番区域中の外字（住所外字）のように、全国で共通に管理する必要のある「共通外字」と、各登記所ごとにバックアップセンターで管理する「登記所固有外字」の2種類がある。

#### ア 共通外字

共通外字には、登記データを制御するための機能コードとしての「機能コード文字」と住所辞書の地番区域中に使用されている「住所外字」の2種類があり、いずれもシステム上、一意の管理がなされている。

#### 機能コード文字

登記データを構成する登記事項データの機能の識別コード文字である。

## 住所外字

登記簿の地番区域中に記載されている文字で、既存の文字コードに登録されていない文字である。

### イ 登記所固有外字

登記簿に記載されている文字等のうち、既存の文字コードとして登録されていない文字である。システム上、一意の管理がなされておらず、各登記所ごとに外字作成を行った上で、新規外字として登録を行っている。

### (2) 外字の定義領域

J E F コード体系中の利用者定義文字の領域 ( 80A1 ~ A0FE ) に定義される。

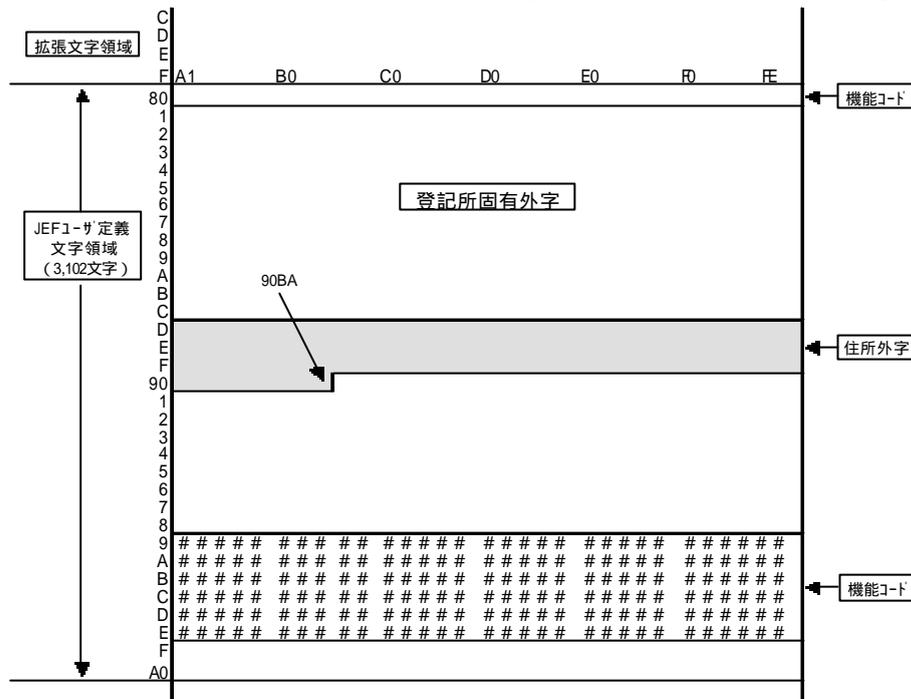


図11 J E F 利用者定義文字領域の使われ方

- 登記所固有外字領域・・・住所以外で発行する外字 (1128文字)  
(81A1 ~ 8CFE)
- 住所辞書外字領域・・・住所に発生する外字 (308文字)  
(8DA1 ~ 90BA)
- ホスト単独使用領域・・・このうち80A1 ~ 80FEは機能コード文字 (282文字)  
(80A1 ~ 80FE/9FA1 ~ A0FE)
- ## 機能コード領域 (564文字)
- '7&JISに存在していた文字のうち、'8&JISに存在しない文字の領域 (820文字)で、  
記入端末に外字登録を行っている。(90BB ~ 98FE)

## 3 外字の運用方法

登記情報システムにおける外字の運用方法は、登記所の形態 ( 移行開始から D B インストール前まで、 D B インストール時、 登記所移行最終収束時、 1 次業務稼働中 ( 2 次移行中)、 共担移行中から共担インストールまで、 共担業務オープン後、 共通外字の緊急出荷時 ) ごとに、以下の作業を行うことにより運用している。

### (1) 外字コード発番・発行・管理作業

外字が発生した場合に、真に外字かどうかの調査を行い、新規外字として作成する必要があると判断した場合に、登記所固有外字、住所外字ごとに外字コードを発番し、通知する。

### (2) 外字パターンの作成・登録・反映・確認作業

新規外字の通知があった場合に、該当のコードで文字パターンを作成し、登録する。また、登録後は、該当外字パターンの確認を行う。

### (3) 文字セットライブラリ・イメージライブラリの更新作業

文字パターンファイルに外字を登録（追加）した場合，外字をリスト出力するために，文字セットライブラリ及びイメージライブラリの更新を行う。

(4) 外字DB創成作業

登記所の文字パターンファイルから登記所固有外字領域と住所外字の外字パターンを抽出し，外字DB用のデータに変換することにより，外字DBを創成する。

(5) 外字パターンのパソコン端末装置及び記入TP端末装置への反映作業

新たに登録（追加）した外字パターンを，登記所のパソコン端末装置及び記入TP端末装置に反映する。

(6) NMC（FNAGateway）登録作業

共通外字（住所外字も含む）を画面に表示させるために，文字パターンファイルから共通外字のデータをNMCまたはFNAGatewayへ登録する。

(7) 外字確認作業

登記所において，外字DBが正しく創成されたかどうか確認する。

(8) 外字環境の削除作業

登記所の共担移行完了時に，移行作業で使用した外字の環境（文字セットライブラリ，イメージライブラリ及び文字パターンファイル）をすべて削除する。

#### 4 登記所固有外字及び住所外字の現状

平成15年1月現在，登録されている登記所固有外字総数は全国で30,713文字であり，住所外字は268文字である。